



2022年7月31日

藤沢市議 神尾江里氏 「市政報告会」での環境講座報告

ワークシート

自分が すぐに できること ①

1 買いすぎない

家にある食品と照らし合わせて、また、予定を考えて、必要な分だけ買しましょう。



消費者庁「食品ロス削減ガイドブック」令和3年度版より

コツは？

まず冷蔵庫の中を確認する

買うものをメモする

まとめ買わない

ご依頼内容

【対象者】

環境問題に関心を持つ方等、20名

【内 容】

「環境とお財布にやさしい食品ロス削減について」45分

①食材が手元に届くまで

②食品ロスの現状

③食品ロスを減らすには？

使用教材 と感想

現代の食材には輸送などにエネルギーが多く使われており、食品ロスはエネルギーのムダにもつながっていることを、白地図やクイズで確認しました。そして、神尾氏提供の資料により、藤沢市の食品ロスの現状を提起しました。ロス削減の具体策はワークシートに各自書いてもらい、様々な知恵を共有する形でまとめました。参加者からは「タイムリーな話題で良かった」との感想をいただきました。

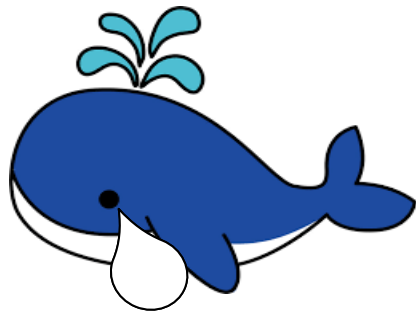


2022年7月5日

南房総市立千倉小学校環境学習会 報告

5年生を対象に、環境の講座を実施（昨年度の実施時4年生だった児童）

海洋プラスチックごみ
について考えよう



グループワークの様子



ご依頼内容

【対象者】

小学5年生、54名

【内 容】

「海洋汚染（プラスチック）について」

- ①海洋汚染の現状
- ②人間の活動が海洋汚染の原因である
- ③豊かな海を守るためにできること

使用教材
と感想

海岸に流れ着いたくじらや網に絡まったウミガメの写真、海洋プラごみの現物を見せたり、クイズ、ワークなどを講師が組み立てて実施しました。講座後のアンケートには「ごみの多さに驚いた。人間が出したごみで生き物が苦しんでかわいそう。自分ができることを探して今日からやりたい。」などとあり、しっかりと受け止めてくれたと思います。



横浜市立川上小学校 SDGsの授業 「つくる責任 つかう責任～チョコレートの現場から」

実施時間 13:40～14:20

- ①3種類のチョコレートの名前、価格、重さの情報で1個を選ぶ。
- ②カカオの生産現場を写真で知る。
- ③パッケージ裏に書かれた情報を読む。
児童労働解決の取組として寄付とフェアトレードをロールプレイで理解する。
- ④学びを踏まえて改めて1個を選ぶ。
イギリスのスーパーでのFT商品の普及を知り、消費のもつ力と責任を理解する。

2021年12月2日、横浜市立川上小学校5年生60人を対象に、SDGsの12番「つくる責任 つかう責任」を学習する授業を実施しました。



子どもに身近なチョコレートを題材として、児童労働の現状を実感してもらいました。より良い社会のために、消費者が情報を読み取り、商品を選んで買うことの意味と責任を伝えました。

受講者の感想

- ・私たちは普通に学校に行っている学校に行くことが当たり前ではないことがわかった。
- ・今までは自分たちのことばかり考えていたから、これからは生産者のことを考えたい。
- ・量とお金で決めずにフェアトレードのマークを見てきめるようにしたらいいと思った。



横浜市立川上小学校 わたしたちの暮らしとSDGs



対象:横浜市立川上小学校5年生 2クラス 60人

教科:総合的な学習の時間

実施日:2021年10月6日(水) 45分×2時間

1時間目:わたしたちの暮らしとSDGs(講義)

2時間目:ハンバーガーとSDGsのつながりを考えよう(グループワーク)



気候変動をはじめとした世界で起きている様々な問題が、自分たちの暮らしとどのようにつながってるのか、一緒に考えました。この後、SDGsのテーマを各自決めて調べ学習をし、周年行事で発表することになっています。



「わたしたちの暮らしとSDGs」

1. 日本のわたしたちの暮らしを見てそれぞれ何と書こうでしょう。下のわくに書いてみましょう。

夜が強い国に住む人	未来の人	地球上に住むほかの生き物



受講者の感想

- いろいろなことが地球温暖化につながっていると知りびっくりした。SDGsについてもっと調べたいと思った。身近なハンバーガーがこんなに環境問題と関わっていたなんてびっくりした。
- 自分たちは今、何も知らないでふつうに生活しているけど、大変なことがいろいろおこっているんだなどはじめて知った。SDGsが大変な取組なんだなと思った。ふだんの授業では学べないことが学べてよかった。
- 今日の授業でSDGsに興味が出てきたので、どのマークがどのような取組の内容なのか調べてみたい!



レイモンド学園 企業と連携した環境授業 (高学年)とCサポ講座(低学年)の報告

inオンライン講座

当日の授業

1時間目:13時00分~13時45分
Cサポ講師 中村 純子による
「マークを探して地球にやさしい生活をしよう」

2時間目:14時00分~15時25分
(株)トンボ鉛筆講師による
「企業の環境への取組 ~文具でエコ~」

2021年2月26日、アメリカンスクールのレイモンド学園(横浜市)計19名(低学年6名高学年13名)に、各家庭とのオンラインにより環境授業を実施しました。



低学年には、Cサポ人形が語りかけるスタイルにしたり、高学年にはあらかじめ配布しておいたリサイクル素材の教材を工作したりして、オンラインならではの工夫をしました。

オンライン講座を行っている様子 ▶

受講者の感想

- ・ぼくはペットボトルをリサイクルすること、魚や森林を大切にしたいと思った(低)。
- ・環境にやさしい再生可能な製品を使用することで地球の為にできることがある(高)。
- ・自然の大切さをまなびました、意識してリサイクルできる製品を購入したり、エコバックを使うなど、自然を大切にしていきたい(高)。